

## 競技会へ初めて参加する方へ

1. この競技会は、全日本アーチェリー連盟競技規則(2022~2023)及び東京都アーチェリー協会競技運営安全管理規程を適用します。
2. 18mインドアラウンド 60射(30射×2回)を行射します。
3. 競技会の立ち順ならびに、前半成績や確認用成績は [ianseo.net](http://ianseo.net) に掲載されますので、各自ご確認ください。

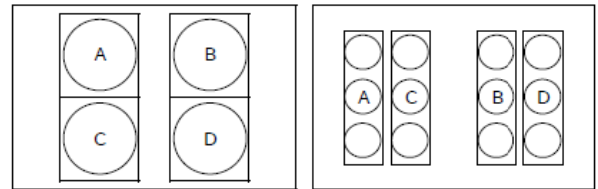
◎ianseo.net は こちらから



<https://ianseo.net/Details.php?toId=15854>

4. 標的面は1枚の畳に標的を4枚設置。競技は(AB-CD)2立とし、3射毎に矢取りを行います。

◎40cm 標的面の場合、A 立は上段左側、  
B 立は上段右側、C 立は下段左側、D 立は  
下段右側の標的を行射してください。



◎縦三つ目標的面の場合、A 立は左から1列  
目、B 立は左から3列目、C 立は左から2列目、

D 立は左から4列目の標的を行射してください。3つの的はどのような順番で行射してもよい。

◎どちらの大きさの標的面も1標的面に1名のみが行射します(各人の的は固定)。

◎1 エンドの行射は、3射 90 秒です。

5. 競技開始前に練習の時間があり、3射 90 秒を2回行います。  
「AB立:3 射、CD立:3 射、矢取り」、「CD立:3 射、AB立:3 射、矢取り」  
競技の行射順序は、「AB立、CD立、矢取り」、「CD立、AB立、矢取り」の順に循環して行います。  
競技の進行は、ブザー及びデジタル時計により管理します。ただし、時間制限に関しては、ブザーの音響を優先します。
5. 用具故障が発生した場合はただちに後方審判に伝えてください。用具故障による補充矢を行射する時間は、3本3エンド以内とします。
6. この競技会では、入力端末による得点集計補助システム(イアンセオ)を使用します。ianseo の入力の仕方のページが後にあります。成績はイアンセオの入力よりスコアカードが優先されますので、スコアカードをしっかりと記入しましょう(スコアカードの書き方参照)。  
◎わからないときは手を挙げて審判を呼んでください。
7. 各部の競技終了後、確認用成績を [ianseo.net](http://ianseo.net) 上に発表して異議申し立ての時間を設けます。異議申し立て時間以降の得点に関する疑義は認めませんので注意してください。

安全指導 (公社)全日本アーチェリー連盟競技規則「安全規程第8章」及び  
(公社)全日本アーチェリー連盟競技規則第205条第19項に記載の事項の徹底

指導内容

- (1)競技開始前、審判長から「引き分け、引きもどし」「セーフティーゾーン」「矢が畳をそれた場合」について、具体的に注意喚起をします。
- (2)競技開始後は、後方審判員が「引き分け等が危険」と思われる選手に直接注意(警告)します。  
それでも改善されない場合には、審判長に報告し、競技委員長と協議のうえ競技続行を禁止する場合があります。
- (3)矢が畳からそれた選手に関しては、そのエンドのうちに必ず申告させ、それた矢の所在が確認できないうちは試合の進行をストップすることもあります。全選手に対し矢取り後に、矢の本数を確認させます。
- (4)セーフティーゾーンを越える場所に矢を射った選手は、その時点でその日の試合に関しては競技続行中止を命じます。
- (5)的から矢を多く外す選手には、審判長、競技委員長と協議のうえ競技続行を中止する場合があります。
- (6)その他、安全を脅かす行為をした選手・観客等に対しては、競技委員長・DOS・審判長の判断で厳格に対処します。

## ■■■スコアカードの書き方■■■

◎RC、BBIは、インナー10はXと記入せず10点と記入します。

◎CPIは、インナー10のみ10点と記入します(アウター10は9点と記入します)。

1. スコアカードに射った矢の得点（素点という）を記入するときは、必ず高い得点から書きます。
2. 相互採点を行う際には、自分のスコアカードを同次の選手に渡し、自分の矢の得点を読み上げます。得点を記入する選手は、読み上げた得点間違いがないか確認し、スコアカードに丁寧に記入します。
3. 水や汗で字がにじまないように、黒色か青色の油性のボールペンを使ってください。絶対に赤色は使用しないでください。
4. 素点を誤って記入した際には、必ず矢を抜く前に訂正をしてください。矢を抜いた後では、訂正できません。  
誤った点数に線を引き、余白に正しい点数を書き直してから、同次の選手全員のサイン（イニシャルでも可）を書いてください。審判員に訂正してもらっても構いません。
5. 次のような場合は、訂正が必要となります。

- ① ボールペンがかすれたため、上からなぞり書きをした。

<例>

3

<訂正の仕方>

- ② 数字を無理やり他の数字に書き直した。

<例>

3 7 6

6. 数字は丁寧に記入してください。

- 1 → 1 × 7 7と見分けがつかない こすぎ 玉岡 牧内 TM
- 7 → 7 × 7 1と見分けがつかない
- 9 → ○ 9 × 7 7と見分けがつかない
- M → ○ M × m

18m-1	1	2	3	小計	合計	10	9
1	10	9	8	27		1	1
2	9	9	8	25 26	53		2
3	10	9 10	9	29	82	2	1

合計点（小計点）の訂正サインは必要ありません。

7. 30 射終了毎に、競技者サイン、記録者サイン、合計点、10 点本数、9 点本数などの項目をすべて記入します。提出前に必ず合計点の間違いがないか確認してください。  
故意に高い点数を記入したり、点数の書き換えを行った場合は、失格となることもあります。